



はらいちひろ な

原市紘奈さんの作文 (つくば市立手代木南小学校 6年)

てしるぎみなみ

## わたしの宝物

わたしの体に障害があることがわかったのは、二才のときでした。脳の神経の病気のために、足がうまく動かないのです。

そのため、歩くときに、大きく肩がゆれたり、速く走れなかったりします。

学校からの帰り道、向こうから歩いてきた中学生のグループに、私の歩き方をまねされ、こそこそと話をされたことがありました。休みの日に出かけると、まわりの人にじろじろ見られることには、慣れていたつもりですが、さすがに、くやしくて、悲しくて、泣きそうになりました。

そのとき、一緒にいた友だちが、

「あんなことするなんて、ひどいよね。許せない！」

と、自分のことのように怒ってくれたのです。わたしには、こんないい友だちがいるのだと心から思いました。

クラスでドッジボール大会をすることになったとき、「紘奈ちゃんには当てない」という特別ルールを作ろうという提案がありました。ほとんどの子が、「いいね、いいね」

と賛成しそうになりました。でも、わたしは、内心、

「ええっ。困ったなあ。当てられないなんて、ドッジボールじゃないよ。どうしよう」

とっていました。

そのとき、ある男の子が、さっと立ち上がり、

「それじゃあ、紘奈ちゃんは、つまらないと思います。みんなと一緒にやった方が、楽しいと思います」

と言ってくれたのです。わたしも思いきって、

「みんなと同じようにやらせてください」

と伝えることができました。みんなと同じルールでやったドッジボールは、本当に楽しかったです。

わたしのことを助けてくれる友だち、わたしの立場に立って考えてくれる友だち、そんな友だちがわたしの周りには、たくさんいます。

先生方も、わたしが困ることはないか、みんなとなるべく一緒にできる方法はないか、いつも考えてくださっています。

そのおかげで、これまでの小学校生活をとても楽しく過ごすことができ、感謝の気持ちでいっぱいです。

わたしを支えてくれる周りの人たちは、わたしにとって、かげがえのない宝物です。その宝物の輝きに負けないよう、自分自身を輝かせていきたいと思っています。

年 組 名前

■ <sup>はらいち</sup>原市さんがドッジボールを楽しくできた理由を書こう。

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

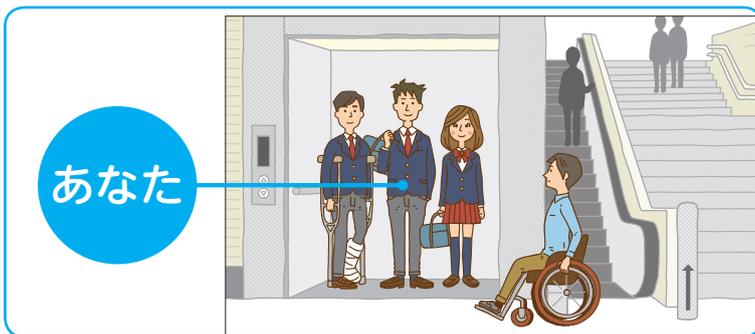


年 組 名前

## ■ あなたならどうする？

- ・ 駅のエレベーター（6人乗り）
- ・ 車いすの入れるスペースは立っている人の3人分程度

ケース① ・ 3人は同じクラスの友達



.....

.....

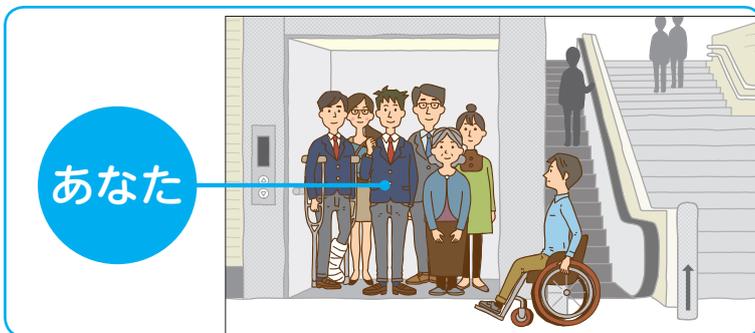
.....

.....

.....

.....

ケース② ・ あなたと松葉づえの人は同じクラスの友達



.....

.....

.....

.....

.....

.....



## ■ 感想を書こう。

A large rectangular area with a blue border, containing 20 horizontal dotted lines for writing reflections.

### パラリンピックの価値

- 勇気
- 強い意志
- 公平
- インスピレーション

